

禁煙補助薬についての説明

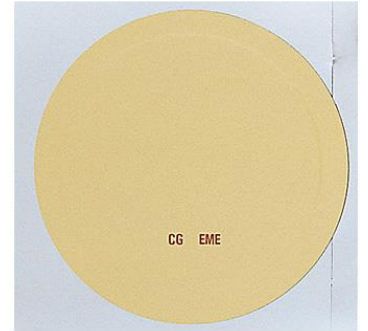
薬剤をお渡しする際にも説明いたしますが、簡単に重要な注意事項等を記載しております。ご一読ください。

ニコチネル TTS[®] (ニコチンパッチ)NRT

<ニコチネル TTS[®]外観>

ニコチン置換療法(Nicotine replacement therapy: NRT)は、皮膚から少量のニコチンを浸透させることで、ニコチンからの離脱症状(吸えないことによる不快な症状)を緩和させ禁煙に導く薬剤です。

商品名はニコチネル TTS[®]です。



ニコチンパッチの最大の副作用として、皮膚症状が挙げられます。

全く症状がない方もいらっしゃいます。出現する方では、痒み、発赤、湿疹と症状は多彩です。軽症の皮膚症状であれば、抗ヒスタミン剤内服やステロイド軟膏塗布を併用して治療継続する方もいらっしゃいます。

ノバルティス社の製品説明書によると皮膚症状の発現率は 19.4%とされています。汗をかきやすい夏季に副作用が多い印象です。

許容できる程度の軽微な症状であれば貼付継続可能ですが、使用者が許容できないような高度の皮膚症状が出ればパッチによる治療は断念しなければなりません。

- 入浴後、清潔になって乾いた肌に貼る、翌日の入浴時に交換する。
- 毎日貼る部位を変える。

という工夫により副作用の軽減が期待できます。

また、パッチによる治療中(貼り付け中)に喫煙すると急激なニコチン血中濃度上昇を招くため、絶対に喫煙しないでください。

皮膚症状が出現しなければ非常に安全性が高いことは古くから証明されている薬剤です。

この他にも様々な副作用が添付文書には記載されており、例えば、不眠、悪夢(犬が喋った、変なところに連れていかれた etc…)が起こる可能性があります。これについては、世界的には薬剤の副作用というよりも、喫煙(ニコチン摂取)しないことによる「離脱症状」の一環ではないかと専門家は考えています。しかし、薬の副作用として挙げるようにとされています。

副作用についてはネットでも参照できますので、ご確認ください。

なお、妊娠中の方につきましては、禁煙補助薬使用の前に、事前に必ず保健・医療推進センター保健師までご相談下さいますよう、お願いいたします。

ご不明な点がございましたら、お気軽にお声掛けください。

保健・医療推進センター